

としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118 (三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066 (大江分館) TEL・FAX 56-1017

読んでも読まなくても自由



みなさんは「本を読みなさい」「読書をしなさい」と言われたことがありますか？なぜ本を読まないといけないのでしょうか。本は、人が作った物で、人の考えが書かれています。ただの紙の束のようだけど、本は人間そのものといえるのかもしれない。困ったときに何かを教えてください、助けてくれることがあります。一人の時間に、寂しさを紛らわせてくれることもあります。

もしも、本を手にとってみようと思ったとき、本が必要になったときに、みなさんが図書館を思い出してくれると嬉しいです。



◆本や読書について書いている本◆

『本について授業をはじめます』

永江 朗 / 著, 少年写真新聞社

『小学校では学べない一生役立つ読書術』

齋藤 孝 / 著, KADOKAWA

『ほんはまっていますのぞんでいます』

かこ さとし / 著, 復刊ドットコム

『まなの本棚』

芦田 愛菜 / 著, 小学館

『本を味方につける本』

永江 朗 / 著, 河出書房新社

『10代の本棚』

あさの あつこ / 編著, 岩波書店

子どもの読書週間・2020

「出会えたね。とびっきりの1冊に。」



子どもたちにもっと本を！との願いから始められた「子どもの読書週間」が、今年も4月23日～5月12日に行われました。家にいる時間が多いこんなときこそ、子どもたちが「とびっきりの1冊」に出会えますように！

インターネットで、本との出会いをお手伝いするブックリストが公開されています。

読書推進運動協議会 (<http://www.dokusyo.or.jp/>)

「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレット

全国学校図書館協議会 (<https://www.j-sla.or.jp/>)

「青少年読書感想文全国コンクール」課題図書・「よい絵本」「えほん50」ほか ブックリスト



ものの見方はひとつじゃない

見方を変えると世界が広がる。心が明るく楽しくなる、そんな本を紹介します。



『桃太郎は盗人なのか？』

(倉持 よつば / 著, 新日本出版社)

ある絵本に「桃太郎は盗人である」と書かれていた。桃太郎は正義の味方だと思っていたのに…。本当はどうなの？と「桃太郎」の本を読み比べ、鬼の正体を知るために大江山へ。一冊の本との出会いから始まった、小学5年生の調べ学習をもとにした本。

『あたまをつかった小さなおばあさんがんばる』

(ホープ・ニューウェル / 作, 福音館書店)

ぬれタオルを頭にまいてイスにすわり、ひとさし指を鼻のわきにあてて目をとじる。お決まりのポーズで頭を使えば、困ったこともすぐに解決！

まずしいけれど、ガチョウやねずみたちと毎日をゆかいに暮らす、小さなおばあさんのお話。

『いいね！』

(筒井 ともみ / さく, あすなろ書房)

いやなことやきらいなものだって、あちからこちから見てみると「いいね！」に変わる。20人の子どもたちの小さな物語。読むと自分の「いいね！」がきっと見つかる。やわらか頭とやわらか心で、自分の「いいね！」を信じよう。最後のネコ新聞も見どころ。

図書館の利用券を作ると本を借りられます

福知山市内に住んでいる小学生・中学生は、自分の図書館利用券を作ることができます。名前・住所・生年月日わかる保険証や生徒手帳などが必要です。中学生は本人が申し込みをします。小学生はおうちの方(保護者)といっしょにきてくださいね。



★ 児童 ★ おすすめ本 ★

『カンガルーがんばる!』

(佐川 芳枝 / 作, 講談社)

カンガルーの子どもハリーは、あたたかくてミルクのにおいのするおかあさんのふくろから出てきました。ある日、ハリーはディンゴの子とお友達になります。でも、このディンゴは、カンガルーをおそう天敵だったのです。

オーストラリアの地でたくましく生きるカンガルーの親子のお話。

『びっくりしゃっくりトイレそうじ大作戦』

(野村 一秋 / 作, 佼成出版社)

由治は、今日も一人でトイレ掃除をしていました。同じ班の3人はさぼってばかり。そんなある日、由治は校務員の林さんと出会います。林さんの掃除の技に感激した由治は、ある作戦を思いついて…。世代を超えた友情と成長の物語です。

『ミコとまぼろしの女王』

(遠崎 史朗 / 作, ポプラ社)

5年生のミコは、超がつくほどの古代史オタク。その知識は副担任になった大学教授“じいちゃん先生”も驚くほど。ミコは「邪馬台国は屋久島にあった」という新説を説き、じいちゃん先生とともに屋久島へ調査に向かった。邪馬台国のありかをめぐる謎解きバトルがはじまる!

『ちがいがわかるいきもの図鑑』

(成島 悦雄 / 監修, 高橋書店)

比べてみるからおもしろい! 34組の似ている生き物たち。タヌキとアライグマ、アナゴとウナギ、ウミネコとカモメ。どこが違う? 形、大きさ、色、生き方など、似ている生き物たちを絵とお話で比べてみると、新しい発見があるでしょう。

★ ティーンズ ★ おすすめ本 ★

『もし地球に植物がなかったら?』

(きねふち なつみ / 作, あすなろ書房)

植物は、大昔からずっと地球の生き物の「いのち」を支えてきました。植物の働きからできたオゾン層に守られて、動物も植物も共に進化してきました。その壮大な生命のリレーを植物の視点から振り返り、美しい木版画の絵とともに、わかりやすく紹介しています。

『星くずクライミング』

(櫻崎 茜 / 作, くもん出版)

怪我をきっかけに、大好きだったスポーツクライミングをやめようとした中学1年生のあかり。同じ年のブラインドクライマー 昂と出会い、あかりは昂のナビゲーターを務めることに…。パラクライミング大会に向けて臨んでいく2人の葛藤や成長を描く。

『太陽はひとりぼっち』

(鈴木 るりか / 著, 小学館)

『さよなら、田中さん』の母娘が帰ってきた! 中学生になった花実。新しくできた友達や身近な人々が引き起こす騒動のなかで人生の苦しみを知る。全てうまくはいかないけれど、明るくたくましく生きる田中母娘の、笑いあり涙ありの心に響く作品。

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』

(日本ペンクラブ / 編, ポプラ社)

「八方美人の自分が嫌。」「ふられた彼女と一緒にの教室にいるのがつらい。」「お金がなくても成績を上げられる方法がありますか。」からだ、心、人間関係、将来。今、逆境のなかにいるティーンの悩みに、作家が言葉をもって本気で答えてくれる1冊。